

岩手県企業短期経済観測調査結果（2016年3月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の67社 ※
- 回答率98.5%（回答数66社、うち製造業26社、非製造業40社）
- 回答期間 2月25日～3月31日

※ 調査対象企業の定例見直しに伴い、15年3月調査より対象企業が追加されている。このため、計表に記載している14年12月調査結果は、新ベースの集計結果を掲載している。ただし、DIにかかる長期時系列グラフ（4ページ参考2の各グラフ）は旧ベースの集計結果を掲載している。

1. 業況判断指数 (DI)

業況判断指数（全産業）の「良い」超幅は、前回調査（12月）と同じ水準を維持した（前回12→今回12；2011年12月調査以来18期連続での「良い」超）。

業種別にみると、製造業では、素材業種、加工業種ともに業況感が前回調査と同じ水準を維持したことから、全体では前回と同じ「悪い」超幅となった（前回▲4→今回▲4；2015年9月調査以来3期連続での「悪い」超）。

非製造業では、暖冬の影響などから運輸・郵便、電気・ガス、宿泊・飲食サービスで業況感が悪化した一方、建設業で業況感が改善したことから、全体では前回調査と同じ「良い」超幅となった（前回22→今回22）。

先行きは、製造業では、加工業種で受注減少などを見込む先が散見されることから、「悪い」超幅が拡大（今回▲4→先行き予測▲8）。非製造業では、多くの業種で震災復旧復興需要、公共工事の減少などを懸念する先がみられることから、「良い」超幅が縮小（今回22→先行き予測10）。

この結果、全産業ベースの先行きDIは、「良い」超幅が縮小。

この間、各種判断DI（参考1）をみると、価格判断DIでは仕入価格の「上昇」超幅が大幅に低下したほか、雇用人員判断DIでは「不足」超が続いている。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
製造業	22	15	0	▲3	▲4	▲4(0)	▲8
素材業種	0	▲11	0	0	▲11	▲11(0)	▲11
加工業種	33	27	0	▲5	0	0(0)	▲6
非製造業	28	15	25	25	22	22(13)	10
建設	50	43	36	43	14	29(0)	15
全産業	26	15	15	14	12	12(8)	3

2. 売上高・経常利益（2015年度実績見込み、2016年度見通し）

2015年度売上高は、他社との競争激化や暖冬などの影響から、電気機械、電気・ガスで減収となったものの、震災復旧復興需要関連や新製品の投入効果等から建設、卸売、輸送用機械で増収となったことから、製造業、非製造業とも前年を上回った。

2015年度経常利益は、震災復旧復興需要関連業種や素材業種などで増益となったものの、電気機械、小売などで減益となったことから、全体では減益となった。

2016年度売上高は、製造業で年度後半にかけて需要回復に伴う販売好転を見込む先が多くみられるものの、非製造業で建設需要（震災復旧復興、公共工事等）の減少を主因に減収を見込んでいることから、全産業では減収となる見通し。

2016年度経常利益は、製造業では下期にかけて増益を見込む業種が多い一方、非製造業では上期を中心に大幅な減益を見込んでいることから、全産業では減益となる見通し。

— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	2015年度(実績見込)		2016年度(見通し)					
	売上高	経常利益	年度	売上高		年度	経常利益	
				上期	下期		上期	下期
製造業	3.4 (1.0)	▲13.9 (75.9)	3.1	0.2	6.0	9.2	▲ 9.2	23.8
非製造業	4.9 (1.6)	4.9 (12.6)	▲ 7.2	▲12.1	▲ 2.6	▲20.6	▲50.4	▲ 3.4
全産業	4.4 (1.4)	▲ 2.6 (28.9)	▲ 3.8	▲ 7.9	0.2	▲10.1	▲34.1	5.4

3. 設備投資額（2015年度実績見込み、2016年度計画）

2015年度は、能増投資、更新投資などを中心に前年を上回った。

2016年度は、製造業、非製造業とも引き続き新規出店等の能増投資、更新投資などに積極姿勢を示す向きがみられることから、全産業で前年を上回る計画となっている。

(ソフトウェア投資を除くベース)

— 同上

	2014年度(実績)	2015年度(実績見込)	2016年度(計画)		
			年度	上期	下期
製造業	▲1.0	17.6 (▲10.4)	13.1	28.5	▲ 2.1
非製造業	4.7	5.0 (3.7)	6.1	7.9	4.5
全産業	1.5	11.8 (▲ 4.8)	10.1	19.8	0.8

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲ 3	▲10	▲17	▲13	▲18	▲ 9(▲21)	▲10
製商品在庫	「過大」—「不足」	▲ 2	8	8	6	2	8(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	31	35	25	15	19	3(20)	15
販売価格		▲ 6	▲ 1	▲ 3	▲ 6	▲11	▲13(2)	▲ 3

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
製 造 業	▲18	▲ 7	▲ 8	0	▲11	▲15(▲ 4)	▲11
非 製 造 業	▲ 5	▲ 3	▲ 2	▲ 3	▲ 5	0(0)	0
全 産 業	▲11	▲ 4	▲ 5	▲ 2	▲ 8	▲ 6(▲ 2)	▲ 5

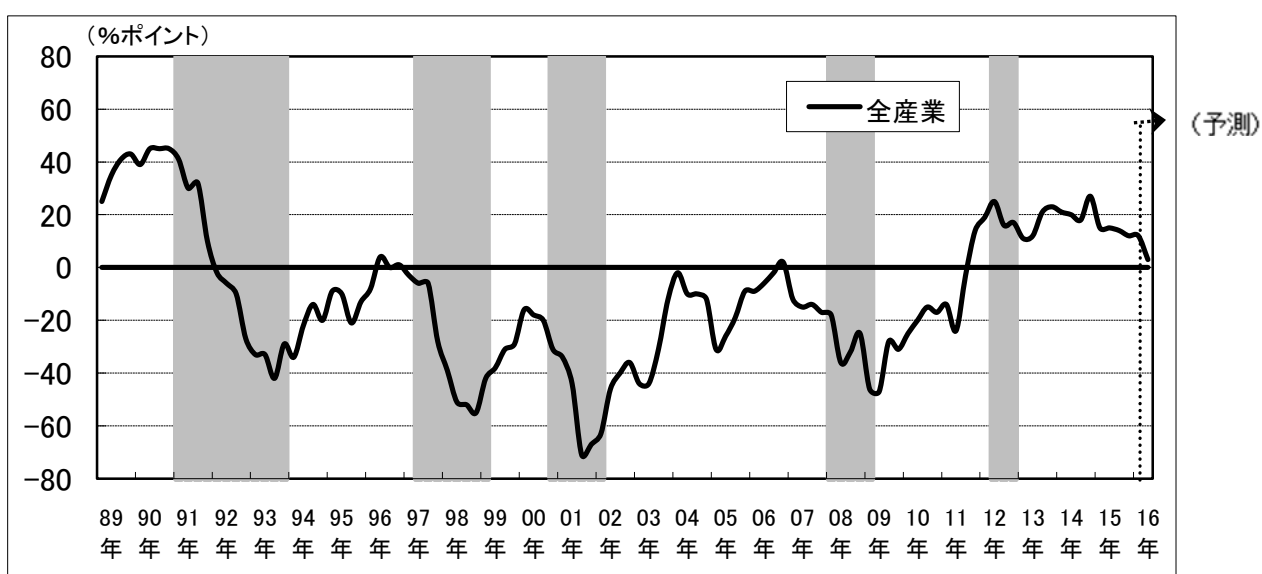
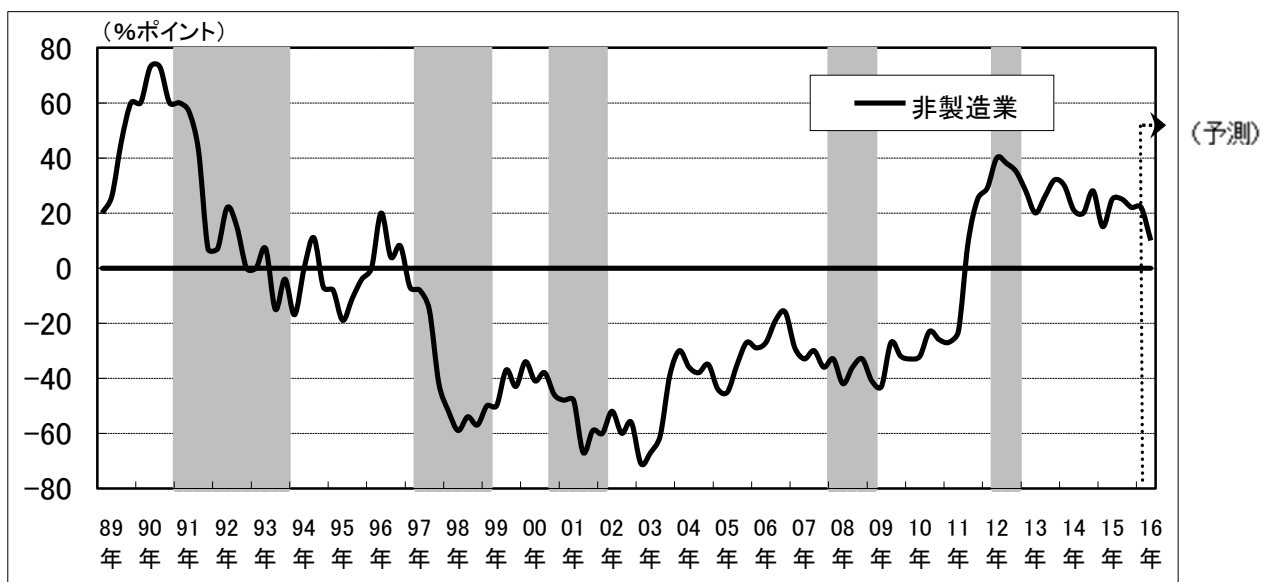
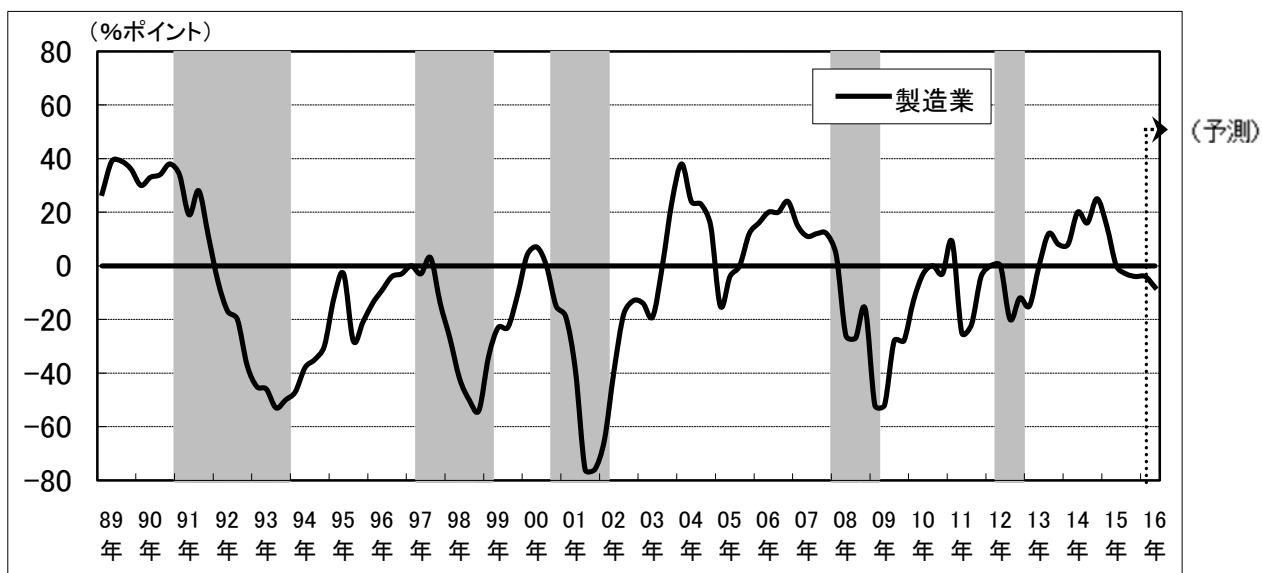
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
製 造 業	▲37	▲19	▲19	▲12	▲19	▲23(▲22)	▲19
非 製 造 業	▲30	▲32	▲27	▲32	▲27	▲25(▲23)	▲18
全 産 業	▲33	▲27	▲24	▲24	▲24	▲24(▲23)	▲18

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	6	10	12	15	10	12(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	18	21	18	20	18	13(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	▲14	▲12	▲ 6	▲ 6	▲ 5	▲14(3)	▲15

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
製造業	全国	7	5	4	5	4	1 (1)	▲ 3
	東北	7	1	▲ 2	▲ 1	1	▲ 4 (0)	▲ 6
	岩手	22	15	0	▲ 3	▲ 4	▲ 4 (0)	▲ 8
非製造業	全国	6	9	10	10	13	11 (7)	4
	東北	10	11	14	15	18	11 (7)	4
	岩手	28	15	25	25	22	22 (13)	10
全産業	全国	6	7	7	8	9	7 (3)	1
	東北	8	7	8	9	11	6 (4)	1
	岩手	26	15	15	14	12	12 (8)	3

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		14/12月	15/3月	6月	9月	12月	16/3月	6月 (予測)
全産業	岩手	26	15	15	14	12	12 (8)	3
	青森	1	0	1	8	7	6 (1)	▲ 3
	宮城	11	5	▲ 1	8	6	5 (▲ 2)	▲ 1
	秋田	▲ 6	▲ 7	0	0	0	▲ 6 (▲ 4)	▲ 5
	山形	5	5	7	0	13	2 (0)	▲ 3
	福島	14	16	16	15	18	10 (16)	7

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>